

演奏の様子は
こちらから



富津市立環小学校の全学年による第33回議場コンサートが、令和7年12月4日に開催され、「環小学校校歌」「いつだって」「あすという日が」の斉唱・リコーダー奏、合唱3曲を披露し、聴く人の心に響き渡りました。



「新年暁輝」

写真提供：大堀・對馬 治 さん

富津絶景⁵⁹

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、欲びを分けてください。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

12月定例会……………2～3 P

議決結果……………3 P

個人質問……………4～8 P

政策提言……………9 P

行政視察報告……………10～11 P

トピックス・定例会日程……………12 P

12月 定例会

◆条例等

▼富津市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

令和8年度から全国において本格実施される、乳児等通園支援事業（通称…こども誰でも通園制度）について、設備・運営に関する基準を定めるため、条例を制定するものです。

▼一般職の職員の給与等に関する条例及び富津市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定

千葉県人事委員会勧告に準じ、給料月額、期末および勤勉手当の支給割合の引き上げ等を行うため、条例の一部を改正するものです。

令和7年12月定例会は、11月26日から12月17日までの22日間で開催されました。議案17件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案の採決の結果は、3ページをご覧ください。

▼富津市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

令和7年2月26日に発生した大船渡市の林野火災を受けて、林野火災注意報や林野火災警報の的確な発令により、火災予防の実行性を高めることが必要であることから、令和8年1月1日より条例の一部を改正するものです。

▼損害賠償の額を定めること及び和解

令和7年8月25日に発生した車両事故について、相手方から代替のスクールバスの引き渡しで和解することについて、議会の議決を求めるものです。



▼特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般職の職員に係る期末手当および勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、特別職の職員で常勤のものに係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、討論（反対2件、賛成1件）があり賛成多数で可決しました。

▼議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

一般職の職員に係る期末および勤勉手当の支給割合を引き上げることに伴い、議会議員に係る期末手当の支給割合を引き上げるため、条例の一部を改正するもので、討論（反対2件）があり賛成多数で可決しました。

▼督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

公金収納のデジタル化など、市税の収納環境が変化していることから、納税の利便性の確保および徴収業務の効率化による徴収率の向上を図る観点から、関係条例の督促手数料を

廃止するため、条例の一部を改正するものです。

▼富津市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

令和8年3月31日に金谷保育所、令和10年3月31日に佐貫保育所および峰上保育所を廃止するため、条例の一部を改正するもので、討論（反対1件、賛成1件）があり賛成多数で可決しました。

◆補正予算

▼一般会計

①補正予算第5号
(補正額 2億4373万円)

重度心身障害者医療費等助成事業、私立保育所等運営事業、道路維持事業などに係る経費およびこれらに関連する歳入を計上するとともに、給与改定、時間外勤務などに伴う人件費などを補正するものです。

・子育て応援ぎずな事業

(26万円)

子育て支援のために頂いた寄附金を活用し、市民貸出用のチャイルドシートを6台購入します。

・市立保育所運営事業

(20万円)

子育て支援のために頂いた寄附金を活用し、児童の保育環境を整備するため、中央保育所の遊具として、屋外用プレイハウスを購入します。



参考：プレイハウス（イメージ）

▼一般会計

②補正予算第6号

(補正額 2億8161万円)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付商品券事業および高齢者（65歳以上）へのプレミアム商品券給付事業並びに物価高対応子育て応援給付事業などを補正するものです。

・高齢者（65歳）へのプレミアム商品券給付事業 (9600万円)

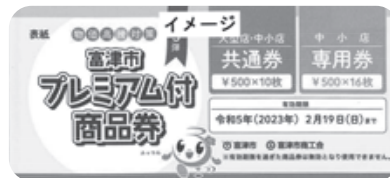
物価高騰により市民生活に大きな影響が及んでいる中、65歳以上の高齢者の支援を目的として、プレミアム商品券を支給します。

・物価高対応子育て応援手当給付事業 (8826万円)

物価高騰により市民生活に大きな影響が及んでいる中、子育て世帯を力強く支援し、こどもたちの健やかな成長を応援するため、0歳から高校生年代までのこどもに対し、応援手当の支給を行います。

・プレミアム付商品券事業 (9735万円)

物価高騰により市民生活に大きな影響が及んでいる中、市内における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券を発行します。



プレミアム付き商品券（イメージ）

▼国民健康保険事業特別会計 第2号 (補正額 556万円)

▼後期高齢者医療特別会計 第2号 (補正額 169万円)

▼介護保険事業特別会計 第2号 (補正額 284万円)

各特別会計について、繰入金や人事異動に伴う人件費などを補正するものです。

令和7年12月定例会の議決結果

※議案17件、報告3件の議決結果は次のとおりでした。

議 案 等	議決結果	富井 碧	平野 寛明	白井 義夫	丸 優子	荒井 輝久	宮崎 晴幸	渡辺 純一	三富 敏史	関 努	猪瀬 浩	諸岡 賛隆	千倉 淳子	山田 重雄	石井 志郎	平野 明彦	平野英男 議長
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与等に関する条例及び富津市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
火災予防条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
君津郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び君津郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
損害賠償の額を定めること及び和解	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計補正予算（第5号）	原案可決	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-
令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
高宕山自然動物園の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
山中奥畑簡易給水施設の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の報告（3件）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の「富津市」及び「～について」は省略表示しています。

○＝原案賛成 ●＝原案反対

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるので、定例会に限って行われます。

今回の12月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。



富津市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像をみることができます。
<https://www.futtsu-gikai.jp/index.asp>



富津市議会



本会議録画検索



令和7年12月定例会

富津市議会 再生リスト
令和7年12月定例会



デジタルで持続可能なまちづくり 学校での日本語支援

問 地元を離れて大学進学等をした若者は、その後、地元地域との関わりが薄れがちになる。全国ではデジタル技術で、若者と地域を継続的につなぐ取組が広がりを始めていると聞くが。

企政部長 VRやメタバースを活用した観光やイベント集客、教育に関する事例がある。情報発信活動は地域と若者との継続的な関係構築に有効であると考えている。

問 本市での検討および実績は。

総務部長 LINE、Facebook、X、Instagram、YouTubeに加え、TikTokを本年10月1日に開設し、市内イベント動画などの配信を始めた。また、富津市二十歳の集いに各SNSを登録するようお願いしている。

問 地元就職のためのインターンシップ等、取組実績は。

企政部長 学生や社会人を対象に、NPO法人AFICCや、首都圏バックオフィス支援協会と協力し、「富津就職フェス」や「キャリアフェス in ポリテク君津」を実施。

問 次に、デジタルを活用した空き家施策の検討は。



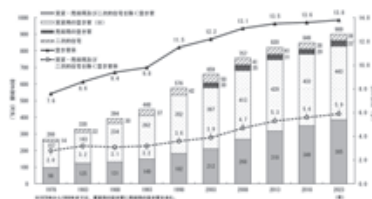
渡辺 純一
議員

企政部長 デジタル技術は、有効な情報提供手段。ストリートビューと屋内動画を組み合わせたオンライン内見等を前向きに検討。

問 空き家に入居してもらうため、長期賃貸の末、譲渡する仕組みは、
企政部長 市主体で実施することは難しい。一方、民間事業者が主体となり、自治体は連携・支援を行う事例があり、研究を行う。

問 次に、日本語指導が必要な外国にルーツを持つ児童の在籍数は、
教育部長 本年度は、青堀小学校に19名在籍。

問 ICTを活用した同時翻訳、多言語字幕配信が出来るかどうか、
教育部長 不安軽減や緊急的な意思疎通など、有効な手段での可能性があり、活用を行う。



全国空き家数及び空き家率の推移
(総務省報道資料より引用)



障がい者福祉／新たな観光資源発掘に おける内裏塚古墳群について



三富 敏史
議員

問 障がいのある方が安心して暮らせる地域社会を築くため、本市の理念と今後の方向性を伺う。

市長 「いきいきふつつ障がい者プラン第3次基本計画」で「障がいがあってもその人らしく、ともにいきいきと暮らせるまち」を掲げ、お互いが支え合う1人の人間として人権が尊重され、自分が望む自分らしい暮らしや、ライフステージや障がいに応じた生活や社会参加ができるまちを目指す。

問 福祉の申請手続き等が複雑との声があるが、現状と改善策は。

健福部長 申請手続きは丁寧な説明に努め、一部手続きの更新不要化を検討。また、相談窓口として基幹相談支援センター「えこ」を設置しており、より一層の周知を図る。

問 就労支援、教育および医療との連携、差別解消の取り組みは。

健福部長 就労支援では、ハローワーク等に行方するなどの支援。教育では、関係者での支援会議を随時実施し、支援体制を構築。医療では、君津圏域4市で、医療的ケアが日常的に必要な児童と家族を地域で支えられるようにするた

めの協議の場の共同設置。差別解消では、ポスター展示や障がい者スポーツ体験などを通じ理解促進を図る取り組みを実施。

問 内裏塚古墳群として国史跡に指定された意義と、市としての位置づけについて伺う。

市長 内裏塚古墳群は歴史的・学術的価値が高く、国民共有の財産として国史跡に指定された。本市にとって極めて重要であり、今後は史跡内裏塚古墳群保存活用計画を策定し保存と活用の両立を図る。

問 市民への周知や教育・観光への活用はどのように進めるのか。

教育部長 広報紙や講演会、展示等で周知を実施。今後は電子博物館の開設、周遊マップやデジタルガイドの充実、学校教育での活用を進め、郷土愛の醸成と交流人口の拡大に繋げていく。



内裏塚古墳群（二間塚）

災害対策・公共施設のトイレの 洋式化／聴覚障害者対策



丸 優子
議員

問 小中学校体育館の空調設備設置の計画は。

教育部長 改築される青堀小学校に設置を計画している。他の学校にスポットクーラーを除いた空調設置計画はない。

問 低所得層へのエアコン購入・設置費用の助成制度の考えは。

市民部長 断熱性の高い窓への改修、脱炭素化を促進する住宅用設備の導入には補助しているが、エアコン設置の補助はしていない。

問 災害時、要配慮者（自ら避難することが困難な方や配慮や支援が必要な方）が福祉施設等へ直接避難する方法は。

総務部長 個別避難計画を作成し、予め誰に避難支援をお願いするのか、どこに避難するのかを決めておくこと。また関係する福祉施設がある場合には、普段から当該施設と災害時の対応について確認をしておくことが重要。

問 公共施設のトイレの洋式化は。

総務部長 市庁舎は38・2%。
教育部長 小中学校のトイレは全体で77・7%。富津公民館は29%。中央公民館は41%。富津市民会館は26%。

問 早期に和式トイレは温水洗浄暖房便座型に改修し、すでに洋式化されているものは暖房便座を設置するべきと考えるが、いかがか。

総務部長 必要性は認識しているが、市庁舎は教育施設整備を優先するため、改修を一時休止しているので、状況を勘案しながら実施したい。

教育部長 公民館は施設の建て替えや大規模改修の際に検討する。

問 現在手話通訳者の資格を持つ市の職員は2名である。市は職員に手話奉仕員養成講座への参加を促し、職員の手話通訳者の養成に努めるべきと考えるが、いかがか。



手話「ありがとう」のポーズ

児童の安全と安心を守る／食品ロスについて



関 努
議員

問 文部科学省いじめ防止対策推進法では、いじめの早期発見と適切な対応のため、各自治体にいじめ対策協議会を置くことが出来るとしているが、本市の設置状況と本市のいじめの現状について伺う。

教育長 未然防止や早期対応等のため、名称は学校によって異なるが、いじめ防止対策組織を設置している。また、万が一のいじめ重大事態に備え、いじめ問題調査委員会を設置できる体制を整えている。なお、本市のいじめ認知件数は、令和5年度303件、令和6年度316件と増加傾向にある。

問 学校外の施設と学校の情報共有や連携体制の現状と、今後の強化の在り方について伺う。

教育部長 学童保育等の学校外施設との、定期的な協議の場や仕組みは設けていないが、必要に応じて連携し対応している。児童生徒の安全安心のため、学校外施設と情報共有や連携調整を行い適切に対応していく。

問 日本では年間4兆円もの食品が捨てられ、莫大な経済損失となっている。一世帯当たり換算すると年間約7万2千円。家庭から

ら出される生ごみのうち手つかずの食品が45・6%に上る。食品ロスをめぐり政府は2030年度までに2000年度比で家庭ごみ50%減の早期達成、事業ごみ60%減を目標に掲げた。本市における削減に向けての考えや施策について伺う。

市長 国は循環型社会形成推進基本計画において、食品ロスの削減は喫緊の課題であるとし、2030年度までに削減目標の達成を目指す。徹底的に取り組むとしている。本市では、富津市食品ロス削減推進計画において、発生抑制を目的とした施策の展開、循環型社会の推進にむけた施策の展開、推進体制の整備に向けた施策の展開を掲げ、本市の実情に即した実効性の高い施策展開を図っていく。



食品ロス、まだ食べることができるのに廃棄される食品

誇りと愛着を持てるまち

ふつつ



荒井 輝久
議員

問 天羽地区の活性化の観点から、観光振興に対する考えは。

市長 第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「地域の特徴ある産業を盛んにする」ための施策で「観光振興促進のため、海岸線や緑豊かな自然、歴史文化資源、観光施設を機能させること

で、交流人口の増加を図ります。」としており、様々な主体が連携し、地域を盛り上げていく事が重要である。引き続き積極的な観光PRを図り、各地域が持つ強みを最大限に発揮できるよう、観光資源を磨き上げ、観光及び地域活性化につなげる。

問 市民花火大会等の来訪者数は。

建経部長 市民花火大会は約4万5千人、シーサイドマルシェは約5千人である。

問 市の観光PR方法は。

建経部長 観光ガイドブックや市HP、SNS、PR動画等、情報発信媒体の活用や観光協会等とのPR等、様々な方法を用いている。

問 市民の森、野鳥の森、管理棟を含んだキャンプ場の活用状況は。

建経部長 千葉県森林組合が指定管理者として管理し、7月から8

月にキャンプ場を開設、他自主事業のブルーベリー狩り、梅狩り、そば作り、お正月飾り教室、シイタケ作り教室などを実施。

問 市内小中学校の閉校後の利活用等について。

市長 今年度末に閉校となる、環小学校及び佐貫小学校の利活用については、校舎などの劣化状況や地域や地権者の意向を確認した上で今後の方針を検討する。

問 旧小中学校の各施設の賃料は。

総務部長 閉校施設の校舎や体育館などの建物及びその底地については、3年間の無償での使用貸借契約を締結。グラウンド部分などの土地は賃貸借契約を締結、旧金谷小が月額22万円、旧環南小は月額1万円、旧天羽東中が月額12万円、旧竹岡小が月額11万円である。



旧環南小学校を活用したマメノキドッグパーク

市民サービス向上等のための職員育成等の職員の育成等



猪瀬 浩
議員

問 財政難報道後の経営改革プラン策定から10年。プラン通りに人材が育ち、組織体制を整えられたと感じているか。

市長 経営改革の着実な実行に向け、見直すべき経営資源で最も要となるのはヒトであると位置付け、目標管理志向型の組織形成と柔軟な組織運営の構築を図ることに取り組んできた。その取り組みは着実に進展していると考える。

問 入庁10年間はジョブローテーションを行うとの人材育成方針を掲げているが、実際は入庁20年を超える課長クラス以上も対象。それが、地域住民との信頼関係を構築を図ることが難しい状況や、計画策定において過去の取り組みを把握できず、現在の情勢と合わせた一貫性のある計画を立てられる人材の不在を生み出している。今後、課長クラス以上も、ジョブローテーションの対象にするのか。

総務部長 今後も対象としていく。職員の時間外手当が満額支給されないという。どうしても業務過多の部署がある中、時間外手当が認められなければ、真面目に働くだけ損と思う職員も出てくる



組織の将来を担う職員の発掘・配置への首長等の関与
(総務省「地方公共団体における今後の人材育成方策に関する研究会」より抜粋)

と思う。時間外勤務管理の徹底を行い、適正な時間外手当を払えるようにするべきと考えるが。

総務部長 行政課題が多様化・複雑化する中、時間外勤務は今後も増えていく可能性がある。適正な労務管理を行っていく。

問 職員に効率よく業務に専念してもらうためには、事業に係る主要な職員は固定化させ、スムーズに意思疎通が取れるようにすることが必要。市民サービス向上のために、富津市に足りない人材育成はこれだと思うが、市の見解は。

市長 一箇所に長くいると、自分の部署しか分からない人材になってしまうと考える。異動先ごとで実力を発揮してもらうことが市民福祉向上の近道であると考えている。

市民活動への支援／教育DXの整備等について



富井 碧
議員

問 市民活動やコミュニティへの支援について市民の満足度が低い要因は分析できているのか。

市民部長 支援策の周知が行き届いていないことが考えられるため、引き続き周知の強化を行う。

問 多様な市民が気軽に交流や情報共有が出来る市民活動の拠点は。市民部長 他自治体の事例を参考にハード面だけではなくソフト面も含めた新たな拠点の整備について調査・研究していく。

問 市民活動団体登録制度に登録するメリットは何か。

市民部長 市のホームページで団体の紹介をしている。なお、情報提供や連携等への情報は掲載しておらず、それ以上のメリットは感じられないことが課題である。

問 GIGAスクール構想、NEXT GIGAの現在の課題は。

教育部長 教職員がICTを用いた学習指導を行う頻度や指導力にばらつきがあることが課題。

問 必要なネットワーク速度を満たしていない学校については。

教育部長 教職員へのユーザー体感調査では、改善を要する大きな課題はなかった。



木更津市市民活動支援センターきさらづみらいうラボの様子

問 校務パソコンの不具合について、教育委員からの意見は。

教育部長 校務用パソコンの動作が遅く、業務負担が生じていることは把握しており、改善の検討をしている。教育委員定例会議等で教育委員に対し報告はしていない。

問 校務用パソコンに動作不良が起きている原因の分析については。

教育部長 Windows 11へのアップグレード後に、メモリの使用量が増加したことが原因。

問 対応策と改善策については。

教育部長 各学校に1台配置のスペックの高いパソコンの活用および一部の教職員パソコンのメモリを増設。その後も業務に支障が生じる場合は、個別に確認し対応。

*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。

企政部長（企画政策部長）

健福部長（健康福祉部長）

建経部長（建設経済部長）

◆個人質問

富津市の公共交通問題等について



千倉 淳子
議員

問 富津市の交通困難者の定義は。

が半年間で約120万円）。上限額は、約739万円。

企政部長 富津市地域公共交通計画において、自動車やバイクの運転免許がなく、送迎してもらえない家族、知人等がいない方のほか、送迎頻度が特に低い方としている。

問 市の公共交通計画で「その他特定の利用者等の移動を担う輸送資源」に分類される介護タクシー、福祉有償運送、スクールバスなどについて、公共交通会議の中で討論されるということがあるか。

問 峰上交通の場合、来期は倍で約240万円程度と予測される。わだちと合わせると約400万円。富津市全体で上限が約740万円だと残りは340万円ほど。これに金谷が加わると、残りは僅かと理解した。では、他市町村の福祉有償運送の現状は。

企政部長 富津市地域公共交通計画では、福祉有償運送等は公共交通を補完する移動手段として位置付けているが、富津市地域公共交通会議で検討は行っていない。

健福部長 千葉県内54市町村中、3市において福祉有償運送に対し、立ち上げや運営費の助成事業を実施している。

問 流山市、千葉市では立ち上げ時に20万円、運営費として10万円、白井市では立ち上げ時に40万円、運営費として30万円を助成しているが、本市での助成は。

健福部長 調査・研究していく。

企政部長 学識経験者の委員から福祉有償運送事業について、市民の移動を担保する仕組みとして機能しているなどの指摘があり、次期計画策定で検討していきたい。

問 富津市が受けた空白地有償運送助成金および上限額は。

企政部長 令和6年度の交付額は約279万円（「わだち」が1年間で約159万円、「峰上交通」



令和7年12月に実証運行が開始した「きんこくタクシー」

産業が元気なまちのための土地利用について



宮崎 晴幸
議員

問 適切な管理がされていない農地が多くあるが対応は。

市長 農業従事者の高齢化や後継者不足、有害鳥獣被害による耕作放棄地の増加などの課題があることから農業に携わる皆さまと共に、地域計画の実行等により農地の保全に取り組む。

問 農業振興地域の見直しの考えは。

建経部長 農業振興地域整備計画は、令和8年度から計画の見直しの事務に着手する予定。

問 富津都市計画区域では、どのようなまちづくりをしていくのか。

市長 富津市都市計画マスタープランで地域の将来像を「都市機能を備え、賑わいと活気に満ちた市の中心となるまち」と掲げ、市街化区域と市街化調整区域に分ける線引きの区域で、市街化区域の土地利用や居住の誘導を図る一方、市街化調整区域は無秩序な市街化を抑制するとともに、市街化調整区域全体の利用方針を定めている。

問 イオンモール富津を含む周辺の商業地域で建築の規制は。

建経部長 イオンモール富津及びホームセンター等の街区を近隣商

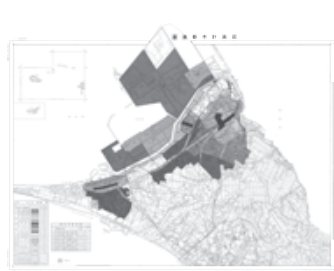
業地域に、遊戯施設等の街区を商業地域に指定のほかに、地区計画による制限がある。

問 イオンモール富津の近くで、ホテル建設等の相談は可能か。

建経部長 当該街区は地区計画により、ホテル・旅館建築の制限はあるが、建設を具体的に進める相談があれば、本市のまちづくりにとっての必要性等を考慮し、十分検証した上で協議を進めていきたい。

問 本郷バイパス周辺や二間塚地区の市街化調整区域に住宅整備をする方法はあるか。

建経部長 市街化調整区域でも区画整理事業や民間による開発行為で、計画が大規模で実効性が伴う場合であれば、住宅地等を整備することは不可能ではないと考える。



富津都市計画図



議会と市民との意見交換会2025 市への政策提言

令和7年8月2日に、市民と議会との意見交換会2025を開催し、富津市みらい構想の施策である「移住・定住を支援するまち」について、意見交換を行いました。

ただ今等、積極的に対応下さるよう、提言書をお渡しいたしました。

今回開催の参加者は、移住・定住者および市内で活動する大学サークルの皆さま。参加者から頂いた意見・要望等を踏まえて、総務産業・教育福祉常任委員会にて調査、研究および協議を重ねてまいりました。

その後、各常任委員会が取りまとめた内容を、議会全体としての1つの提言書に整え、12月17日に、高橋恭市市長に市政に反映してい



議長から市長へ提言書を手渡し



議長からの提言を受けて市長からのあいさつ

市長へ提言書を提出した後は、両常任委員長より、提言内容に係る担当幹部職員へ、提言内容の含意等の説明を行いました。

提言内容

- 1 交流人口や関係人口の拡大と地域定着の促進を目指すために、次のことを提言する。
 - (1) 民間と協働した「移住定住促進協議会」等の新たな機関を設立し、交流人口や関係人口の拡大を図る仕組みを構築すること。
- 2 移住定住希望者が情報共有や交流を図れるように、次のことを提言する。
 - (1) 移住希望者が、現地の空き家・交通・地域情報等を事前に把握できるよう、オンライン等での情報共有や交流の仕組みを整備すること。
 - (2) 移住者や自治会長等から、移住者が地域に溶け込める環境づくりに関する相談があった際、市として協力していくこと。
- 3 移住定住希望者への支援制度の周知徹底を図れるように、次のことを提言する。
 - (1) 移住後の補助制度を、モデルファミリー事例を用いて視覚化し、移住定住意欲を促進すること。
- 4 富津市の貴重な観光資源となり得る市内史跡文化等の更なる周知のため、次のことを提言する。
 - (1) 史跡の整備及び史跡文化を学べる機会に力を入れること。
- 5 地域と地元企業の関係性を強化するために、次のことを提言する。
 - (1) 地元企業と行事等を共に行い、地域と企業との繋がりを強化すること。(例えば、「二十歳の集い」等)

市民との意見交換会2024 市への政策提言 その後

昨年度議会から提言した「通学路等を含む道路の維持管理にあたって、市民からの通報利便性を高めるためにインターネット等で通報出来る仕組みを構築すること」に対して、富津市は「国土交通省LINE通報」サービスを採用。



道路の不備等を発見した場合、スマホ等からお手軽に通報が出来るようになりました。詳しくは、市ホームページ等をご確認ください。



総務産業常任委員会行政視察報告

令和7年7月23日(水)～24日(木)

視察場所 富山県南砺市

富山県氷見市

参加者

委員長 三富 敏史

副委員長 関 努

委員 石井 志郎

平野 英男

山田 重雄

猪瀬 浩

渡辺 純一

荒井 輝久

視察内容

移住定住促進事業(市・中間支援組織・地域団体の3者連携について)

市、中間支援組織(なんと未来支援センター)、小規模多機能自治の3者連携による地域の活性化を進めている。小規模多機能自治は市内小学校区31地区で自治会、公民館、地区社会福祉協議会を一本化し地域づくり協議会として立ち上げ、各地域づくり協議会に中間支援組織なんと未来支援センターによる伴走支援体制を整えた。なんと未来支援センターは、小規模多機能自治支援、結婚支援、移

住定住支援、協働のまちづくり支援、生活支援コーディネイター活動、地域DX支援等、地域課題解決支援をおこなっている。特定地域づくり事業協同組合では、移住者の雇用の受け皿として、農業をはじめとした基幹産業の担い手不足解消を目指し、組合に登録された市内17の企業や農業組合と連携して、登録会社と移住者をマッチングすることで人手不足の解消と、移住者の年間を通じて仕事のできる環境を整えた。この3つの組織の連携により地域の活性化を進めている。



南砺市の視察の様子

視察内容

移住定住促進事業(氷見市IJU応援センター・みらいエンジンについて)

充実の補助金で移住定住促進、定住マイホーム取得支援補助金、新築最大140万円、中古住宅最大60万円。住リリフォーム支援補助金、移住者最大100万円。子育て世帯、新婚世帯、30歳未満世帯、3世代同居世帯、最大50万円。移住支援金補助、東京23区からの転入者や通勤者が移住し起業、または対象法人に就業テレワークする場合、単身60万円、世帯100万円の補助金。その他多くの補助で移住者や若者定住支援を行っている。

氷見市IJU応援センター・みらいエンジンは、STEP1、人が人を呼ぶとして、ターゲットは特定少数、クリエイティブ人材の獲得、仕事を自分でつくれる、働く場所を選ばない、高い情報発信力、楽しさを自分で生み出せる等の人の獲得。STEP2、触発され移住する層の取り込み、起業支援・にぎわい創出。STEP3、移住なら氷見のイメージ定着化で、移住する不特定多数の獲得、人が人を呼ぶまちづくりを目指している。

総括

両市ともに官民協働の新たな組織を立ち上げることににより、斬新な企画と新たな施策で移住定住支援を試みている。手厚い補助制度の充実はもとより、民間活力を中心とした中間支援組織の充実が成功への第一歩。移住者の移住目的のための情報提供とミスマッチ防止、移住前後の具体的な準備、仕事、住まい、地域の人との繋がりをどう作っていくか等が大事になっている。確かな未来ビジョンを見据えた組織づくりと、アイデアと人材獲得が成功のカギとなっている。



氷見市の視察の様子

教育福祉常任委員会行政視察報告

令和7年11月6日(木)～7日(金)

視察場所 宮崎県延岡市

宮崎県都城市

参加者

委員長 宮崎 晴幸

副委員長 平野 寛明

委員 平野 明彦

千倉 淳子

諸岡 賛隆

丸 優子

白井 義夫

富井 碧

視察内容

成年後見制度利用促進について

宮崎県延岡市役所を訪問し、成年後見制度利用促進の取組について、特に延岡市および西臼杵3町で共同設置している「延岡・西臼杵権利擁護センター」について説明を受けました。

同センターは社会福祉士等4名体制で、相談対応、申立て支援、関係機関会議の運営、市民後見人養成や普及啓発を一体的に担っています。市長申立て案件等については、弁護士・司法書士・行政担当者らが参加する「受任調整会



延岡市の視察の様子

議」を毎月オンライン開催し、後見人候補者の選定を協議していること、家庭裁判所とも年4回の意見交換会を行い、運用上の課題や個別ケースへの助言を受けていることが紹介されました。

市民後見人養成研修の修了者は一定数いるものの、実際の就任者は少ないこと、広域化により移動負担や市町間の運用差が生じるなど、現場の課題についても率直な説明がありました。

視察内容

デイサービスと買い物支援

宮崎県都城市においてイオンモール内で通所介護事業を行う株式会社ソートフルを視察し、デイサービスと買い物支援を組み合わせた取組について説明を受けました。

事業所はショッピングセンター内の元フードコート区画を活用し、午前・午後各3時間の二部制で運営されていました。送迎により利用者を店舗まで送り、機能訓練指導員等による運動プログラムを行った後、職員の見守りのもとで各自が館内で買い物を行う仕組みとすることで、外出機会の確保と日常生活動作の維持を図っているとのことでした。体組成の定期測定や、柔道整復師・看護職による「ほぐし」を取り入れ、継続利用につなげている点も説明されました。賃料負担の重さに対しては、県・市による先進的取組支援補助金を活用していることが報告されました。



総括

今回の行政視察には、教育福祉常任委員会の委員8名および介護福祉担当職員1名が参加し、成年後見制度の中核機関とショッピングセンター内デイサービスという二つの先進的取組について、制度設計や運営上の工夫、課題を幅広く聴取しました。教育福祉常任委員会として、得られた知見を富津市の高齢者・障がい者支援や買い物支援施策の検討に生かすべく、今後も関係部局との意見交換を重ね、政策提案へつなげてまいります。



株式会社ソートフルの視察の様子

Topics

話題

賀詞交歓会



1月10日に市役所1階ロビーで「令和8年富津市新春賀詞交歓会」が開催され、約400名が参加し、盛会に行われました。

きんこくタクシー



12月12日に旧金谷小学校で社会福祉法人金谷温清会が行う、交通空白地有償運送による事前予約制デマンド型タクシーの実証運行開始に伴い、「きんこくタクシー出発式」が開催され、平野英男議長が来賓として出席し、祝辞を述べました。

祝 富津市二十歳の集い



1月11日に富津公民館で新成人の門出を祝う「令和8年富津市二十歳の集い」が開催され、平野英男議長が来賓として出席し、祝辞を述べました。

消防出初式



1月11日に消防防災センターで「令和8年富津市消防出初式」が開催され、平野英男議長、消防委員の山田議員、関議員、渡辺議員等が出席しました。

千葉県南市議会議長会議員研修会



1月23日に袖ヶ浦市民会館で、「官民共創で地域課題を解決」についての研修に議員が参加しました。

3月 定例会日程

※本会議の中継をご覧ください。



日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17	18	19 10時 開会 議案の上程	20	21
22	23	24	25 10時 議案質疑	26	27	28
3/1	2	3 10時 一般質問	4 10時 一般質問	5 10時 一般質問	6	7
8	9	10 常任委員会	11 常任委員会	12	13	14
15	16	17 予算審査特別委員会	18 予算審査特別委員会	19	20	21
22	23	24 10時 委員長報告 議案審議 閉会	25	26	27	28

編集後記

朝夕の冷え込みの中にも、富津の町に少しずつ春の気配が感じられる頃となった。通学路を歩く子どもたちの声や、地域で交わされる何気ないあいさつは、日々の暮らしを温かく支えている。子育ては思い通りにいかぬことも多いが、周囲の支えや小さな気づきが、心に余裕を生むこともある。本紙が、忙しい毎日の中で立ち止まり、未来を思い描くきっかけとなれば幸いである。どうぞ穏やかな時間にお読みいただきたい。

(ナベ)